



▽▼さかた農林水産業お役立ち情報 141号（2026年10月1日）

秋分の日が過ぎ、涼しく過ごしやすい日が増え、本格的な秋の深まりを感じる季節となりました。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋…、何をするにも心地よいこの季節、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私は「読書の秋」を楽しんでおります。足早に過ぎ去ってしまう秋のひとときを満喫したいですね。🌿

（担当）Y. S

目 次

1. やまがた温暖化対応米づくり日本一運動食味コンクールの開催について
2. GAP 基礎研修会の開催について
3. 国際水準 GAP 認証取得ガイダンスの開催について
4. 民宿開業スタートアップセミナーの開催について
5. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！
6. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは🌸
7. 食卓に旬を。今月のおすすめレシピ🍵
8. 米に関するマンスリーレポート等（令和8年9月）

【1. やまがた温暖化対応米づくり日本一運動食味コンクールの開催について】

庄内産米のさらなる評価向上と生産者の意欲向上を図るため、標記コンクールが開催されます。成績上位者は表彰のうえ県食味コンクールへ出品されます。

○応募資格／庄内地域において良食味米生産を実践し、食味向上に向けて取り組む個人または集団

○応募部門／「つや姫」、「雪若丸」、「はえぬき」の3部門

○応募方法／別紙応募申込書に玄米2kgを添えて管轄の農業技術普及課に提出。

応募者は各部門につき1点応募可能

○募集期間／応募申込書および玄米の提出期限は10月16日（金）まで

○審査内容／千粒重、食味理化学性（玄米粗タンパク質含有率等）分析、白度等

○問い合わせ／事務局：庄内総合支庁農業技術普及課

TEL 0235-64-2103 / FAX 0235-64-2104

【2. GAP 基礎研修会の開催について】

GAP（農業生産工程管理）は、持続可能な農業のための適正な実践のことで、日本ではSDGsへの貢献や、農業の持続的な発展を可能とする取組としてGAPを推進しています。山形県におけるGAPの取組をさらに推進するため、生産者や流通関係者等がGAPに関する基礎的な知識の習得を目的として研修会が開催されます。

○開催日時・会場／

【置賜会場】置賜総合支庁本庁舎 講堂（米沢市金池七丁目1-50）

11月24日（火）午後1時30分～3時30分

【最上会場】東北農林専門職大学 キャリアサポート・研修センター（緑風館）

研修室（新庄市大字角沢1366）

11月25日（水）午前10時～12時

○研修内容／「GAP概論 ～持続可能な農業のための適正な実践と推進のための基礎～」

講師：安心農業株式会社代表取締役、JGAP上級審査員

藤井 淳生（ふじい あつお）氏

○参加申し込み／下記URLより申し込み

<https://agrin.jp/r8gap-guidance2.html>

○問い合わせ／山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当

TEL 023-630-2481 / FAX 023-630-2456

【3. 国際水準 GAP 認証取得ガイダンスの開催について】

国際水準 GAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）の認証取得に意欲のある団体や指導者を対象にしたガイダンスが開催されます。

○開催日時・会場／

【置 賜 会 場】置賜総合支庁本庁舎 講堂（米沢市金池七丁目 1-50）

11 月 30 日（月） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 15 分

【村 山 会 場】山形県高度技術研究開発センター第 1・2 研修室

（山形市松栄 2-2-1）

11 月 30 日（月） 午後 1 時 45 分～午後 3 時 30 分

【庄内・最上会場】文化館なの花ホール研修室（東田川郡三川町横山堤 172-1）

12 月 1 日（火） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 15 分

○研修内容／「国際水準 GAP の認証を円滑に取得するためのガイダンス」

講師：安心農業株式会社代表取締役、JGAP 上級審査員

藤井 淳生（ふじい あつお）氏

○参加申し込み／下記 URL より申し込み

<https://agrin.jp/261130r8gapguidance.html>

○問い合わせ先／山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当

TEL：023-630-2481 FAX：023-630-2456

【4. 民宿開業スタートアップセミナーの開催について】

○開催日時／令和8年11月6日（金） 13：30～16：00

○場 所／（山形会場）山形県産業創造支援センター 1F マルチメディアホール
山形市松栄1－3－8

（三川会場）三川町公民館（三川町農村環境改善センター）2F 研修室
三川町横山西田 52－1

★山形会場と三川会場で同時開催

○参 加 費／無料

○内 容／

【第1部】13：30～14：50

講演：民宿・民泊開業に必要な法令の知識や手順

宮城県栗原地域での開業 事例・農泊体験プログラムの取組事例の紹介

講師：一般社団法人 くりはらツーリズムネットワーク

理事・主任研究員 狩野夏穂 氏

【第2部】15：00～16：00

座談会：地域の民泊経営者をゲストに、起業に役立つことを共有し、民泊経営について楽しく学びます。

ゲスト：（山形会場）農家民宿 善左工門 岡崎利勝 氏

ゲストハウス さちさんち 川上さち子 氏

（三川会場）農家の宿 母家 小野寺喜作 氏

農家民宿 上野ん家 上野利明 氏

○対 象 者／農家民宿・民宿・民泊に関心がある、または開業を考えている方

既に開業している方や、地域づくり・地域の魅力発信に関心のある方

○定 員／（山形会場）30名 （三川会場）20名

○参加申込／下記申込フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/eaVobyETGupRALgs7>

○申込〆切／令和8年10月27日（火）

○お問い合わせ

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会事務局

〒990-2473 山形県松栄 1-7-48

TEL 023-647-8351 E-mail gt-yamagata@festa.ocn.ne.jp

【5. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。秋晴れの空が心地よく、木々が色づき始める10月。様々な農産物が旬を迎えています。爽やかな秋の自然と農業を楽しんでみませんか。気になった方はぜひ申し込んでみてください！

- ・体験メニュー①：ちくりん整備体験

提供者：ホワイト・グリーン・鳥海

代 表：小松 幸雄

連絡先：0234-64-4648

料 金：1名 500円（お土産付き）

体験人数：5～10名

- ・体験メニュー②：女神の山「胎蔵山」トレッキングガイド

提供者：ごすけ（岩間 政幸）

連絡先：080-5576-1492

料 金：1組 10,000円

体験人数：10～30名

- ・体験メニュー③：ツリークライミング体験会

提供者：庄内空港緩衝緑地パークセンター 担当：村上・池上

連絡先：0234-92-4427

料 金：中学生以下 1,000円

高校生以上 1,500円

体験人数：4名～

※雨天時中止

○申し込み／農業体験提供者へ直接連絡

○問い合わせ／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

（電話：0234-25-3100／HP：<https://www.sakatagreentourism.com/>）

【6. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは❀】

「酒田華いっぱいプロジェクト」※では、お花に関する情報をお届けします。今月のおすすめのお花は マリーゴールド です。

マリーゴールドは鮮やかなカラーと育てやすさから花壇や家庭菜園で親しまれている人気の植物です。開花時期は4月～12月頃までと非常に長く、春から秋（霜が降る時期まで）長期間咲き続けます。花色は明るい黄色やオレンジ、赤褐色、またはそれらの複色などがあります。咲き方も一重咲き、八重咲き、ポンポン咲きなど多彩です。根にセンチュウ（線虫）の発生を防ぐ成分を含んでおり、独特の強い香り（ハーブ臭）によって害虫を寄せ付けにくくします。そのため、ナスやトマトなどの野菜と一緒に植える「コンパニオンプランツ」（虫除け）として人気があります。

＜主な品種分類＞

- ・フレンチ・マリーゴールド：草丈が20～30 cmほどと低く、小ぶりの花が密集してたくさん咲くタイプ。花壇の縁取りや鉢植えに向いています。
- ・アフリカン・マリーゴールド：草丈が50～100 cmと高く、球状の大輪（7～10 cm）ほどの花を咲かせる存在感のあるタイプ。
- ・メキシカン・マリーゴールド：細い葉と小さな一重咲きの花が特徴的で、繊細な印象を与えるタイプ。

丈夫で初心者でも育てやすい花です。管理は日当たりと風通しがよく、水はけがよい場所を好みます。しかし、暑さや乾燥に強い反面、過湿（水のやりすぎ）には弱い性質があります。夏場に一休みして花が減った場合でも、8月～9月頃に短く切り戻す（切り戻し）を行うと、秋に再びきれいに花を咲かせます。

今月の記事は《フローリスト柴田（酒田市若竹町1丁目5-32）柴田 太さん》からご提供いただきました。

※「酒田華いっぱいプロジェクト」は酒田産花きの認知度向上を目指して、市内の有志の生花店と団体、そして市が共同で立ち上げました。

【7. 食卓に旬を。今月のおすすめレシピ🍠】

「酒田市食育・地産地消推進委員会」から、旬の食材を使用したレシピをご紹介します。今月のおすすめ食材は **バターナッツかぼちゃ** です。

バターナッツかぼちゃは、β-カロテンやカリウム、食物繊維などを含む野菜です。なめらかでねっとりとした食感と、ほんのり甘みのある味わいが特長で、スープや煮物、焼き料理など、さまざまな料理で楽しめます。

地元産を使えば、新鮮で味わいも豊か。ぜひ地産地消を意識して、旬の食材を美味しくいただきましょう。

★バターナッツのスープ ★

＜材料＞2人分～

バターナッツ・・・縦 1/2 個	牛乳・・・300～500ml
玉ねぎ・・・中 1 個	コンソメ・・・適量
無塩バター・・・15g～	塩・・・適量
水・・・200ml	乾燥パセリ・・・適量



＜作り方＞

- ① バターナッツを縦半分に切り、ピーラーで皮をむき種とワタを取り、適当な大きさに切っておく。玉ねぎを薄めにスライスする。
- ② 鍋にバターを入れ、玉ねぎを炒め、透き通ってきたらバターナッツを入れ炒める。
- ③ 水を入れ、焦げないように柔らかくなるまで煮る。
- ④ 粗熱を取ったら、ミキサーでペースト状にする。
- ⑤ 鍋に戻し、牛乳とお好みの分量のコンソメを入れ、焦げないように弱火で火にかける。必要であれば、塩で味を調整。器に盛り、パセリをかけできあがり♪

●バターナッツの保存は固めにゆでて冷凍 OK

※紹介したレシピは、委員会所属の「すくすくあぐりネット」よりご提供いただいたものです。

【8. 米に関するマンスリーレポート等（令和8年9月）】

農林水産省より9月号が配信されました。

詳しくは下記 URL よりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

- 1 令和8年産水稻の8月15日現在における10a 当たり収量の平均比見込み
・・・特集-1
- 2 米の基本指針(令和8年9月2日公表)のポイント（玄米ベース）
・・・特集-3

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html>

農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月1回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、
発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ 市公式 LINE での配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいたします。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html



やまがた温暖化対応米づくり日本一運動食味コンクール申込書

応募部門	つや姫 ・ 雪若丸 ・ はえぬき		区分	個人・団体
申込者氏名 または 団体名 (団体の場合は、 代表者名も 御記入ください)	ふりがな		年齢 (団体の 場合は 代表者)	歳
住所及び 連絡先	〒			
	T E L		F A X	
経営の概況				
1 経営面積 h a				
2 水稻 h a 主な品種				
3 転作作物				
作物名： h a 主な品種				
作物名： h a 主な品種				
作物名： h a 主な品種				
水稻の耕種概要				
1 土づくり k g / 10 a (商品名)				
2 栽植密度 株 / m ²				
3 施肥		基肥 N k g / 10 a		
		基肥 P k g / 10 a		
		基肥 K k g / 10 a		
		追肥 N k g / 10 a		
4 収穫・乾燥方法				
食味向上のために行っている取り組み				
安全安心のために行っている取り組み				
県産米の評価向上に資する取り組み				

※注 1 太枠内を御記入ください。

※注 2 栽培履歴等を添付する。

※注 3 本申込書に記載されている個人情報、食味コンクールの審査以外の目的には使用しません。

令和8年度

GAP基礎研修会

GAPを知り、持続可能な農業への一步を踏み出しませんか？

生産者から消費者までの信頼をつなぐ、持続可能な農業の基本と実践を、わかりやすく学べます。

研修内容

GAP概論 ～持続可能な農業のための適正な実践と推進のための基礎～
～GAPは生産者と消費者を信頼で結ぶ懸け橋～（仮称）

講師：藤井 淳生（ふじい あつお）氏

安心農業株式会社 代表取締役、JGAP上級指導員

開催日時・会場

置賜会場

日 令和8年11月24日（火）
時 午後1時30分～3時30分
場 山形県置賜総合支庁本庁舎 講堂
米沢市金池七丁目1-50

最上会場

日 令和8年11月25日（水）
時 午前10時00分～12時00分
場 東北農林専門職大学
キャリアサポート・研修センター
（緑風館）研修室
新庄市大字角沢1366

対象・定員

対象

生産者、JA、市場・流通関係者、各種実需者
県・市町村の関係者

定員

各会場
50名

参加申込み

別紙様式もしくは右記QRコードから、
令和8年11月11日（水）までにお申込みください。



問合せ先

山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当 岡田

TEL：023-630-2481 FAX：023-630-2456 E-mail：okadano@pref.Yamagata.jp

農泊・宿泊事業
に関心の方へ！

民宿開業 スタートアップセミナー

■第1部 講演 (13:30～14:50)

民宿・民泊開業に必要な法令の知識や手順、宮城県栗原地域での開業事例、農泊体験プログラムの取組事例などを学びます。

2026年

11/6 (金)

参加無料



講師：狩野 夏穂 さん

(一般社団法人 くりはらツーリズムネットワーク理事・主任研究員)
地域の魅力を生かした体験活動や観光の企画を行うほか、民宿や民泊を始めたい人の相談対応や開業支援にも取り組んでいる。元栗原市地域おこし協力隊（農泊推進担当）。

■第2部 民宿経営者と語る座談会 (15:00～16:00)

ゲストを囲み民宿経営のきっかけ、運営して嬉しかったこと、経営のノウハウなど、起業に役立つことを共有します。参加者からの質問もOK。歓談を交えながら、民宿経営について楽しく学びます。

山形会場ゲスト



岡崎 利勝 さん (米沢市)
(農家民宿 善左エ門)

教育旅行の民泊受け入れから始め、2017年農家民宿を開業。築130年の古民家で地域の味や暮らしを伝えている。



川上 さち子さん (朝日町)
(ゲストハウス さちさんち)

2026年4月に開業。空き家となっていた実家を活用し、のびのびと心地よく過ごせる、どこか懐かしさを感じる宿を営んでいる。

三川会場ゲスト



小野寺 喜作 さん (鶴岡市)
(農家の宿 母家)

2000年に農家民宿母家を開業。有機や減農薬で育てたお米や野菜と、農に根差した体験ができる場を提供している。



上野 利明 さん (鶴岡市)
(農家民宿 上野ん家)

長年の夢であった農家民宿開業のため調理師免許を取得し、2021年に開業。あつみの暮らし体験と交流がコンセプト。

会 場

山形会場 山形県産業創造支援センター 1Fマルチメディアホール (山形市松栄1-3-8)
三川会場 三川町公民館(農村センター) 2F研修室 (三川町横山西田52-1)

第1部は山形会場で講演し、三川会場にはリアルタイム配信します。

第2部はそれぞれの会場で別々に交流を行います。

対 象

農家民宿・民宿・民泊に関心がある、または開業を考えている方。
既に開業している方や、地域づくり・地域の魅力発信に関心のある方も大歓迎。

定 員

山形会場 30名、三川会場 20名

申 込

お申込みフォームからお申込みください

申込締切

2026年10月27日 (火)



お申込みはこちら

お申込み・
お問い合わせ

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会事務局 〒990-2473 山形市松栄1-7-48
TEL:023-647-8351 E-mail: gt-yamagata@festa.ocn.ne.jp

【主 催】 山形県 山形県グリーン・ツーリズム推進協議会